

学区の概要

- 深谷地区は白石市の最北端にあり、北に青麻山、西に東北の雄峰蔵王連峰がそびえる。南東部には白石盆地が見下ろせ、清流白石川と児捨川が流れる。自然の景観に優れ、春秋の季節は、特にその感が深い。また、三住地区は蔵王連峰の南山麓に位置し、森林を中心とした豊かな自然に恵まれている。白石市の中心部から約15km、学校から約10km離れ、標高456mの地点にある。
- 学区の中央を流れる大太郎川の水路をはさんで地味は肥沃で、稲作、畑作に適し酪農も営まれている。
- 学区のすぐ近くを東北縦貫自動車道が通り、白石I.Cも学区内にある。また、学校から東方500m地点を国道4号線も走っている。白石I.C工業団地には工場進出が進んでいる。
- 深谷地区からは、多数の縄文から弥生時代にかけての遺跡があり、平安期の製鉄遺跡なども確認されている。また、深谷神明神楽は白石市の文化財として保護を受けている。
- 三住地区は、戦前は34戸の集落であったが、戦後開拓者の入植により一時は戸数87戸を数えた。平成30年3月現在、66世帯、人口は173人程度となっている。畑作及び酪農中心の農業経営者が多いが、近年になってペンションや食堂経営等の自営業者も増えている。
- 保護者や地域の人々の多くは、会社勤務など兼業農家で共働きの家庭も少なくない。教育にも熱心で、学校に対して協力的である。
- 三住地区を学区としていた三住分校は平成20年度より休校となっている。

